



2022年10月3日

各 位

会社名 株式会社しずおかフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 柴田 久
(コード番号 5831 東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 山本 規政
(TEL 054-261-3111)

株式会社しずおかフィナンシャルグループの企業統治体制について

本日、株式会社しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）は、銀行持株会社として設立しましたので、当社の企業統治体制について下記のとおりお知らせします。

記

1. 企業統治体制の概要 詳細は別紙のとおり

(1) コーポレート・ガバナンス体制を強化する委員会の設置

取締役会および監査等委員会の経営監督機能を強化する任意の委員会として、独立社外取締役が過半数の「指名・報酬委員会」、業務執行状況のモニタリング機能を補強する「業務監督委員会」、外部有識者により構成される取締役社長の経営諮問委員会である「アドバイザリーボード」を設置します。

(2) グループ経営会議等の設置

- ① サステナビリティを経営の基本に据えつつ、グループシナジーの発揮、経営資源の最適な配賦および的確かつ機動的な業務執行を促進するため、取締役会の授権による業務執行分野別のグループ経営会議として、「サステナビリティ会議（経営執行会議）」、「グループ統合リスク・予算管理会議」、「グループコンプライアンス会議」を設置します。
- ② また、「人的資本経営委員会」および「環境委員会」を設置し、重要テーマに関する議論を活発化することで、サステナビリティ経営を推進します。

(3) グループチーフオフィサーの設置

グループ全体最適かつ機動的な業務執行を促進するため、最高経営責任者（CEO）のもと、業務執行分野別の最高責任者である「グループチーフオフィサー（CxO）」を設置します。

(4) 組織体制

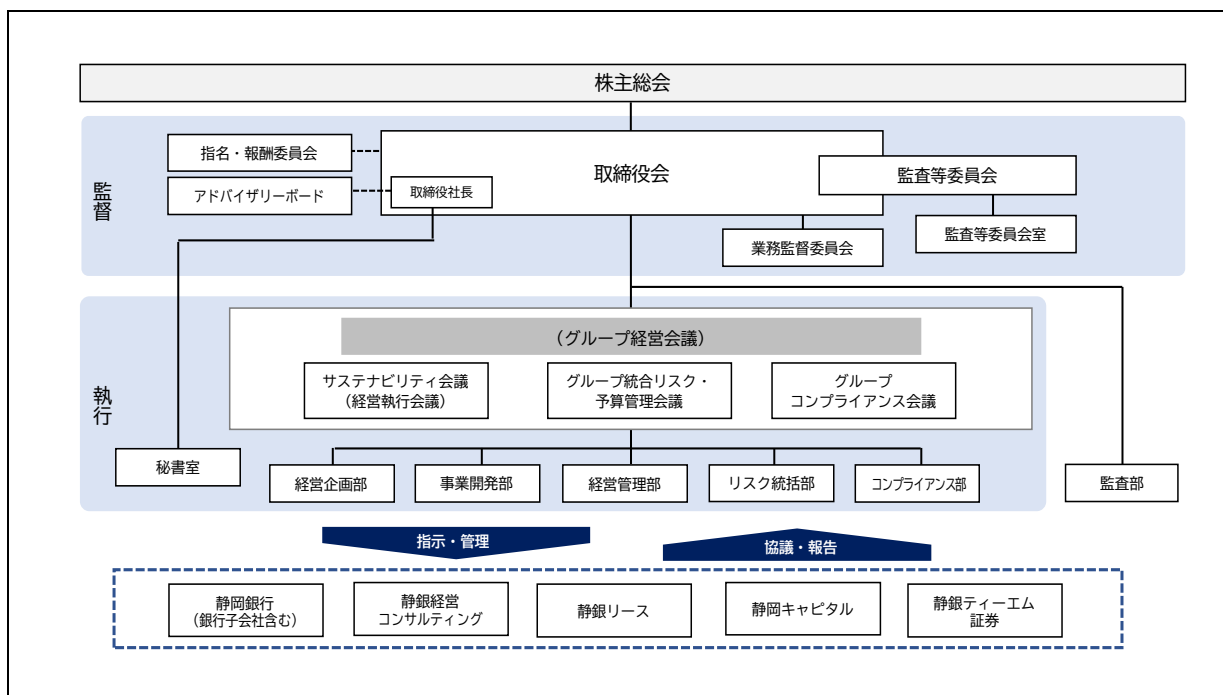
- ① グループの経営管理を的確に行うため、経営統括部門である「経営企画部」、「経営管理部」、「リスク統括部」、「コンプライアンス部」、「秘書室」、内部監査部門である「監査部」を設置します。
- ② 地域の成長に貢献する新たな事業領域の開拓に向けて、「事業開発部」を設置します。
- ③ 監査等委員会の活動を補佐する「監査等委員会室」を設置します。

2. その他

本日付で連結子会社である株式会社静岡銀行の本部組織を別紙のとおり改定しております。

以上

株式会社しずおかフィナンシャルグループの企業統治体制

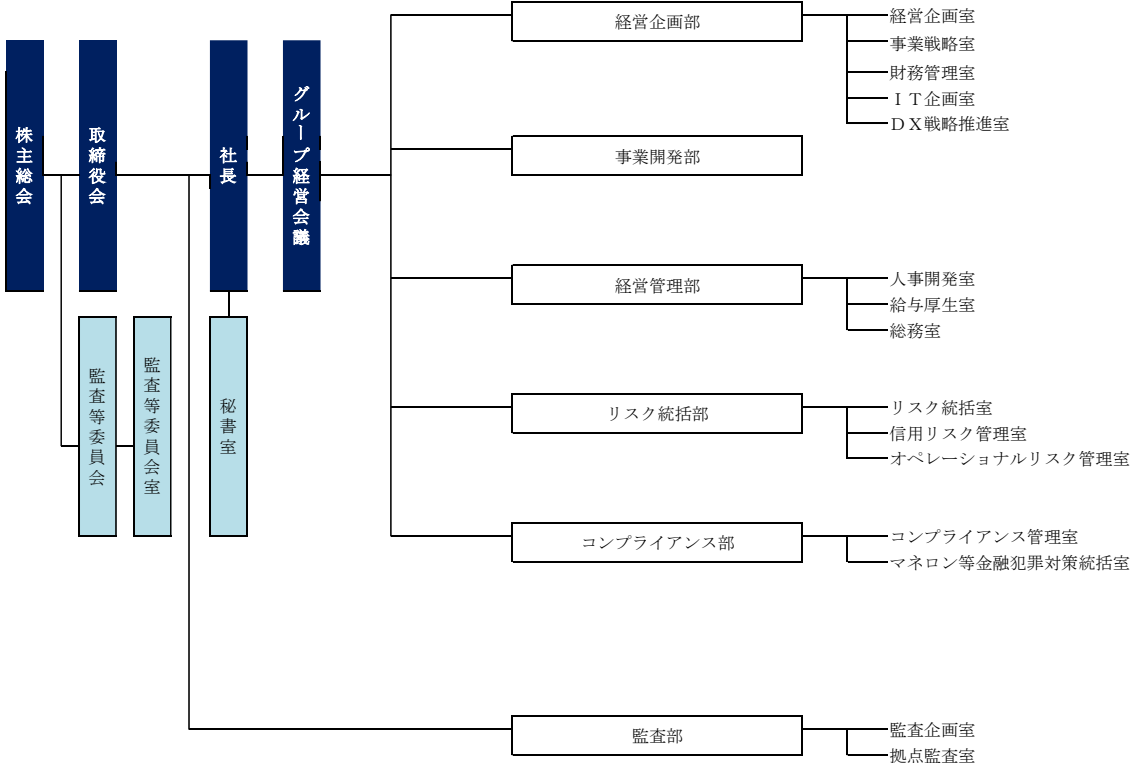


グループチーフオフィサーの設置

最高経営責任者 (CEO)	柴田 久 (取締役社長)
最高財務責任者 (CFO)	梅原 弘充 (執行役員)
最高情報責任者 (CIO)	鈴木 統也 (執行役員)
最高コンプライアンス・リスク管理責任者 (CRO)	小川 泰宏 (執行役員)
最高内部監査責任者 (CIAO)	渥美 透 (執行役員)

株式会社しずおかフィナンシャルグループの組織図

(2022年10月3日現在)



株式会社静岡銀行の組織改定（2022年10月3日付）

1. 組織改定の概要（詳細は後掲「組織改定の内容」のとおり）

（1）市場環境を的確に捉えた課題解決に向けた営業体制の強化

- ①営業戦略部を設置し、対面・非対面チャネルの融合およびデータの活用を促進することで、市場環境を捉えた営業戦略のもと、お客さまに対して課題解決支援や商品・サービスを的確にご提供できる営業体制を構築します。
- ②コーポレートサポート部とライフプランサポート部を設置し、法人と個人の市場動向を捉えつつ、課題解決支援や商品・サービスのラインアップの拡充、質の向上を図ります。
- ③デジタルチャネル営業部にキャッシュレス企画グループを設置、キャッシュレス事業の推進体制を強化し、地域へのキャッシュレス浸透を促進します。

（2）業務の効率性と堅確性を備えお客さまとの取引をサポートする事務体制の構築

- ①カスタマーサポート部を設置し、デジタル技術等によるBPRを推進しながら効率的かつ堅確な事務体制を構築し、営業活動ひいてはお客さまとの取引へのサポートを拡充します。
- ②市場国際業務部を設置し、専門的な知見を要する市場・証券・国際等業務に関し、持続可能かつ堅確な業務運営を行っていく組織体制とします。

（3）取引先の特性を捉えた営業推進体制の強化

- ①東京営業部にベンチャービジネスサポート部を設置し、ベンチャー企業への投融資等のサポートにかかる組織体制を拡充します（ベンチャービジネスプロジェクトチーム（2021年6月設置）を改組）
- ②企業サポート部に審査グループ（審査第一グループと審査第二グループを統合）を設置し、業種など取引先の特性を踏まえた審査体制とすることで、審査知見の向上を図ります。

2. 組織図 後掲のとおり

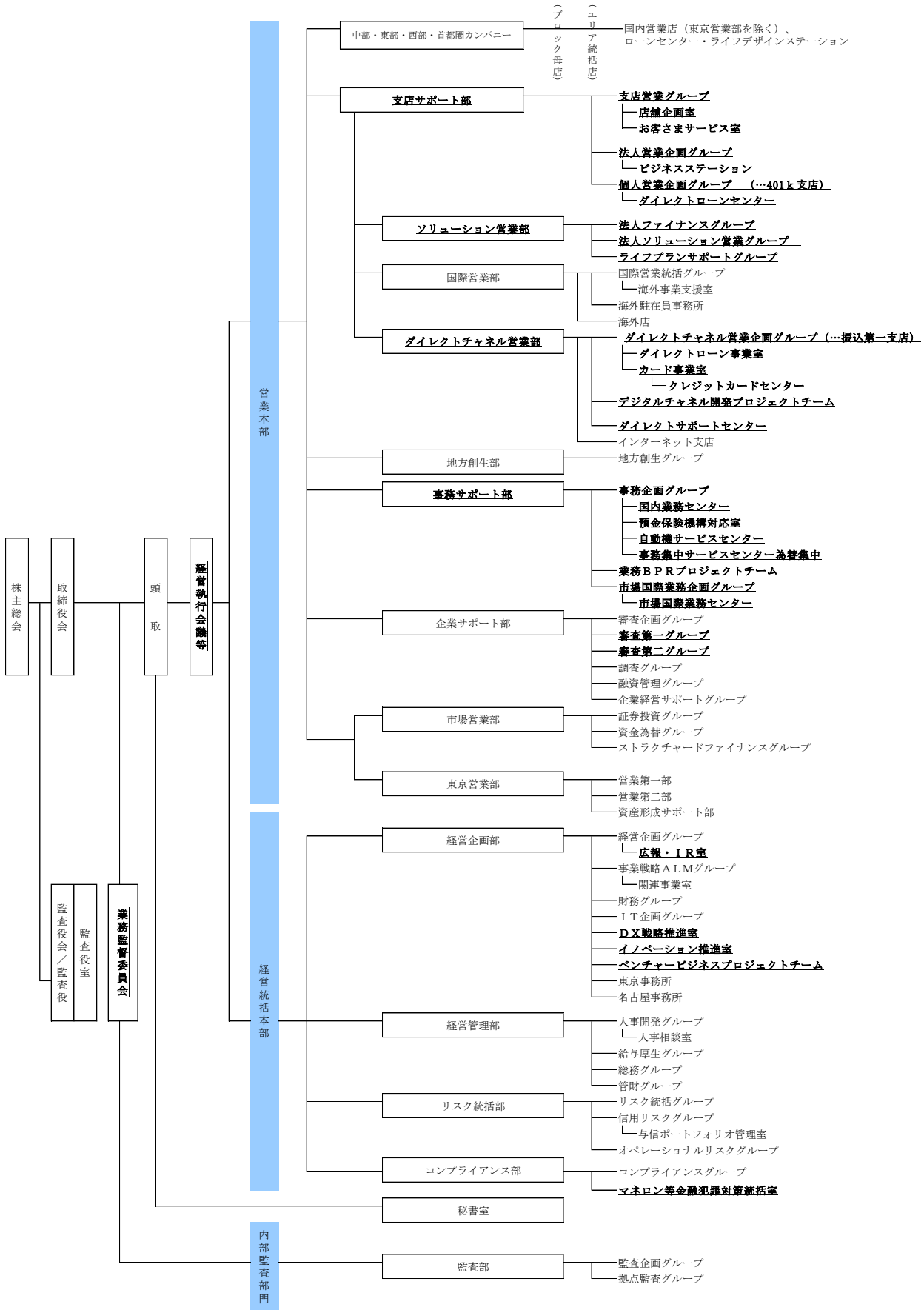
3. 組織改定日 2022年10月3日(月)

以上

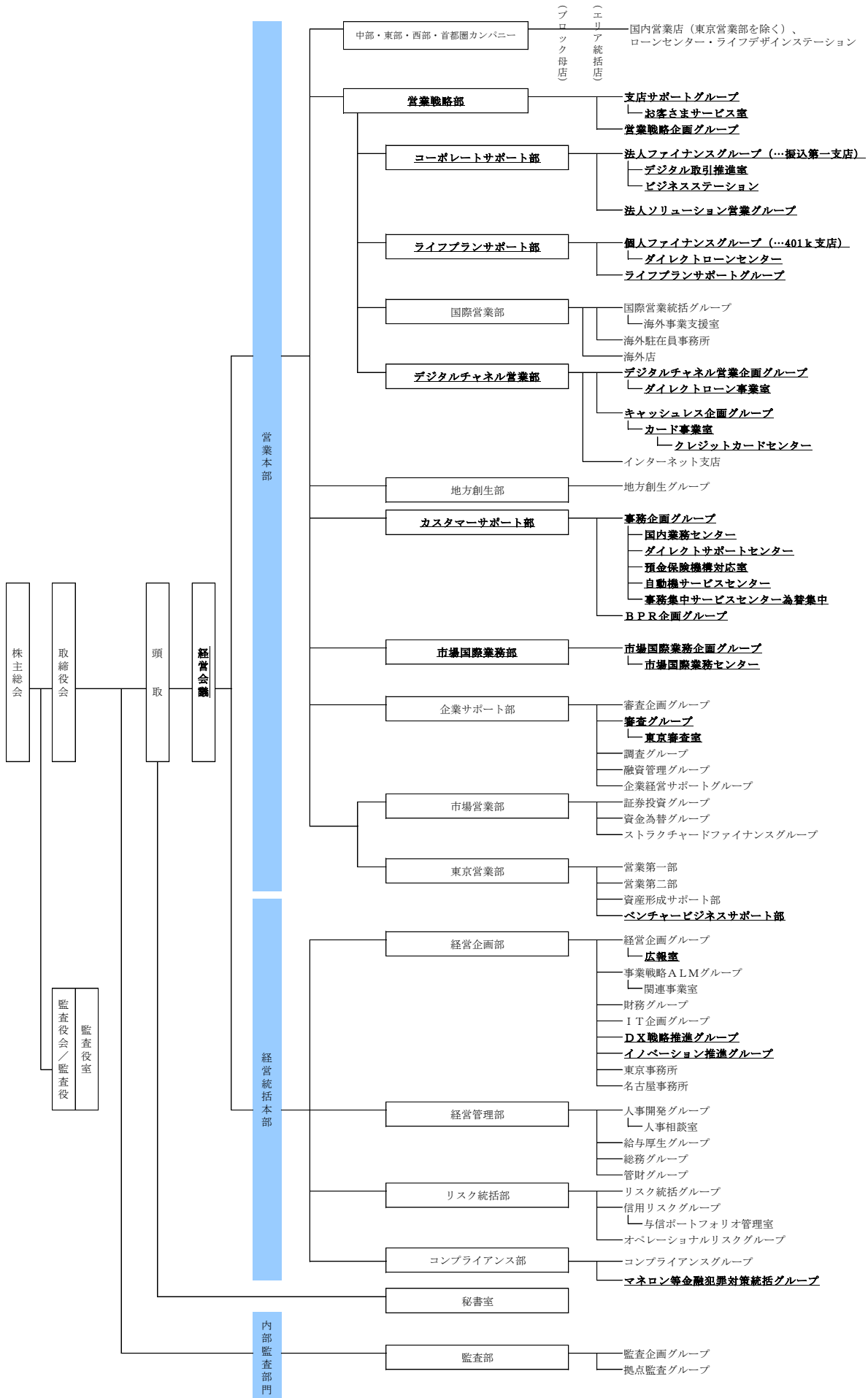
組織改定の内容

部署名	組織改定の内容
営業戦略部	<ul style="list-style-type: none"> 支店サポートグループ（旧支店サポート部支店営業グループを改称）と営業戦略企画グループ（新設）を設置し、チャンネル・データの有効活用による営業戦略の高度化を図る。
コーポレートサポート部	<ul style="list-style-type: none"> 法人ファイナンスグループ（旧支店サポート部法人営業企画グループと旧ソリューション営業部法人ファイナンスグループを統合）、法人ソリューション営業グループ（旧ソリューション営業部所属）を設置し、ファイナンスと各種ソリューションの両面から、課題解決型営業の促進を図る。
ライフプランサポート部	<ul style="list-style-type: none"> 個人ファイナンスグループ（旧支店サポート部個人営業企画グループを改称）、ライフプランサポートグループ（旧ソリューション営業部所属）を設置し、融資、資産の形成・運用・承継等の観点から、課題解決支援や商品・サービスのラインアップ拡充を図る。
デジタルチャンネル営業部	<ul style="list-style-type: none"> デジタルチャンネル営業企画グループ（旧ダイレクトチャンネル営業部ダイレクトチャンネル営業企画グループと同部デジタルチャンネル開発プロジェクトチームを統合）を設置し、デジタルチャンネルの一貫した整備・運用、活用促進を図る。 キャッシュレス企画グループ（新設）を設置し、キャッシュレス事業の推進体制を強化、地域へのキャッシュレス浸透を促進する。
カスタマーサポート部	<ul style="list-style-type: none"> 事務企画グループ（旧事務サポート部所属）、BPR企画グループ（同部業務BPRプロジェクトチームを改組）、国内業務センター（旧事務サポート部所属）、ダイレクトサポートセンター（旧ダイレクトチャンネル営業部所属）を設置し、デジタル技術活用等によるBPRを促進し、営業活動ひいてはお客さまとの取引へのサポートを拡充する。
市場国際業務部	<ul style="list-style-type: none"> 市場国際業務企画グループ（旧事務サポート部所属）、市場国際業務センター（同）を設置し、市場・証券・国際等業務の専門性を継承しながら、持続可能かつ堅確な業務運営体制を構築する。
東京営業部 ベンチャービジネスサポート部	<ul style="list-style-type: none"> 東京営業部にベンチャービジネスサポート部（経営企画部ベンチャービジネスプロジェクトチームを移設）を設置し、営業推進組織としてベンチャー企業への投融資等のサポートに取り組む。
企業サポート部 審査グループ	<ul style="list-style-type: none"> 審査グループ（審査第一グループと審査第二グループを統合）を設置し、業種など取引先の特性を踏まえた審査体制とすることで、審査知見の向上を図る。

(組織改定前)



(組織改定後)



※経営会議は、サステナビリティ会議、統合リスク・予算管理会議、コンプライアンス会議、審査会議の総称です。